

ま え が き

近年、記録的な大雨や高温など、地球温暖化に伴う気候変動の影響をはじめとした環境問題が、地球規模で深刻化しています。

私たちの身近な暮らしに影響を及ぼすこれらの問題は、経済活動や社会的課題等とも深く結びついており、関係者が一丸となった取組が求められています。

本県は、「日本のひなた宮崎県」というキャッチフレーズが示すとおり、温暖な気候の下、豊かな森林や水資源、さらにはそこで育まれる多様な動植物など、素晴らしい自然環境に恵まれています。

一方で、温室効果ガスや廃棄物の排出抑制、野生動植物の保護、森林の整備、大気や水質等の監視による良好な生活環境の保全などに加え、海洋プラスチック対策や気候変動への適応など、引き続き取り組むべき課題を抱えています。

このため、県では、環境行政の基本方針である「宮崎県環境計画（改定計画）」において、「日本のひなた『太陽と緑の国みやざき』の実現」という長期的な目標を掲げ、本県の恵まれた自然環境を守り、生かすことによる持続可能な社会の実現に取り組んでいます。

この目標を達成するためには、県民一人一人のライフスタイルや社会経済システムそのものを、環境に配慮したものに転換することなどが不可欠であり、県民、事業者、団体、行政等が力を合わせて環境保全に取り組んでいくことが重要です。

この白書は、平成30年度の本県における環境の状況と、環境の保全に関して講じた施策の概要をまとめたものです。

本書が広く活用され、県民の皆様の環境問題に対する理解と認識が一層深まり、持続可能な社会の実現に向けた取組が更に進むことを切に願っております。

令和2年1月

宮崎県知事 河野 俊嗣